

総務部会中間報告

第1回：平成29年10月16日 「学校の名称について」

第2回：平成29年11月15日 「校歌の変更について」

第3回：平成29年12月11日 「学校の名称について」

《校名》

沿革や他の町立学校の名称、後には両校とも二中に上がっていくことを意識して、二小と三小だけにクローズアップするのではなく、もう少し大きな視点から見て変更しない事としてはどうか。ただし、子どもたちへの配慮は重要となるので、子どもたちの感覚を上手く誘導していけるように保護者や教員の協力のもと丁寧に伝えていかなければならない。

校名を変えるとすればどうかという観点では、児童のなかに「優越感」や「格差」といったことが生まれるのではないかと懸念されているが、親は価値観を押し付けることなく、子どもたちの可能性、順応性に蓋をしてしまうことの無いように努めなければならないのではないかと。

《校歌・校章》

財源は出来るだけ校舎の改修や安全対策に充ててもらいたいが、作詞・作曲を「依頼する」となれば高額な経費が予想されるが、町や学校のイメージに見合ったものかを計る必要があるものの一定の成果が期待でき事務的な負担も軽減される。「公募する」となれば様々なハードルがあり時間と労力は掛かっていくことになるが、子どもの声・地域の声を取り入れた町や学校のイメージに沿うものになるのではないかと。「二中の校歌を使う」という選択肢も含めて準備委員会にて検討いただきたい。いずれにせよ校歌や服装など経過措置は必要と考える。

《アンケート》

子どもたちの意見も大事にするため子どもたちへのアンケートも検討してはどうか。ただし対象が低学年であるため尋ね方を工夫して担任から上手に聞き取ってもらう必要がある。

校名等に関して保護者などにアンケートを行う場合は、大きな筋道を決めた上でその後の問題点なども提言し、調査対象についても精査が必要ではないかと。

《交流》

三小の特色を継承していくなど丁寧な対応を行いながら交流を活発にしていき、学校活動の中で交流し、それぞれの学校のいい部分を子どもたち同士が紹介しあえれば気持ちもやわらいでいくのではないかと。

《記念式典》

三小の閉校式は行うものとして、二小においても1つの区切りとして捉えておかないと新しいスタートは切れないと思う。ウェルカムパーティではなく新しい文化をみんなで作っていく発想を子どもたちにも持たすことに重点を置く方が、価値があると思う。